

授業科目名	早期体験実習	担当教員	教授 熊倉 俊一 教授 佐野 千晶 教授 鬼形 和道
開講年次・学期	1 年前期・後期	必修/選択	必修
開講形態	実習	時間数/単位数	1 単位
<b>授業概要</b>			
<p>入学後の早期に、本学医学部附属病院における医療現場を体験することにより、医療がどのように行われているのかについて理解を深めるとともに、患者・医師関係や医療者の役割、チーム医療の重要性などを学び、医師を目指すものとして必要な医の倫理・プロフェッショナリズムやコミュニケーション能力を身につけます。また、医療現場で見いだされた疑問や問題点について、自らが能動的に学習し、解決するための手段について学びます。本実習により、今後の勉学に対する意欲が向上し、各学生の使命感・責任感がより一層強くなることを期待しています。</p> <p>本実習を実施するに際して、医学生として医療現場に出て、患者や医療者と接するために必要な知識（医療安全、感染対策、個人情報保護、守秘義務等）や態度（マナー、コミュニケーション等）について講義を行います。実習では、各診療科の指導医の指導のもとで医療体験を行い(新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、病棟での実習は中止し、オンライン実習に変更となることがあります)、また、卒後臨床研修センターによる臨床推論等のレクチャーを行います。実習後に、発表会を実施し、体験実習を総括します(新型コロナウイルス感染症の拡大状況をみて、一堂に会する発表会は実施せず、レポート作成のみとします)。</p>			
<b>G I O (一般目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医の倫理・プロフェッショナリズムの重要性を学ぶ。</li> <li>2. 医療の現場におけるコミュニケーションの重要性を学ぶ。</li> <li>3. 患者と医師の良好な関係を築くことの重要性を学ぶ。</li> <li>4. チーム医療（多職種連携）の重要性を学ぶ。</li> <li>5. 自分の力で課題を発見し、自己学習によってそれを解決する態度を身につける。</li> </ol>			
<b>S B O (行動目標)</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医の倫理、生命倫理を概説し、医師の職責を自覚することができる。</li> <li>2. コミュニケーションを通じて、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>3. 患者の精神的・身体的苦痛を理解し、患者のプライバシーに配慮できる。</li> <li>4. 保健、医療、福祉と介護のチームの各構成員の役割と連携の意義を説明できる。</li> <li>5. 患者を取り巻く問題点を見出し、課題を解決するための方法について説明できる。</li> </ol>			
<b>成績評価の方法</b>			
実習への出席状況、個人レポート、発表会および報告書の作成等より、総合的に評価する。			
<b>教科書・参考書・視聴覚・その他の教材</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. Medical professionalism in the new millennium: a physician charter. Ann Intern Med 2002;136:243-6.</li> <li>2. 緒方洪庵-幕末の医と教えー 中田雅博著 思文閣出版</li> <li>3. 医療プロフェッショナリズム教育 リチャード・クルーズ 他 日本評論社</li> <li>4. 医学教育の理論と実践 ロナルド・ハーデン 他 篠原出版新社</li> </ol>			
<b>オフィスアワー</b>			
<p>* オリエンテーション：7/8月実施</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①医の倫理</li> <li>②マナー・コミュニケーション、個人情報保護</li> <li>③医療安全・感染対策</li> </ol> <p>* 医学体験実習：</p> <p>9/22(水)終日・9/24(金)終日…Aグループ（学生番号前半） 予定 9/30(木)終日・10/1(金)終日…Bグループ（学生番号後半） 予定</p> <p>* 実習のまとめ（グループワーク）：随時</p> <p>* 実習のまとめ（全体発表会）：10月実施予定</p>			
			<p>新型コロナウイルス感染症の拡大状況により変更することがあります。</p>

## 準備学修に必要な学修の時間

各講義の中で指示します。